

福島県PTA連合会



# PTA 福島 第124号

県P連活動スローガン **子と親とが共に育つPTA活動を**

編集：調査広報委員会 印刷：株式会社第一印刷

## ●県P連会長あいさつ

### 着任のご挨拶

福島県PTA連合会 会長 **出川 正人**



日頃より福島県PTA連合会の活動にご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この度、令和6年度会長を務めることになりました出川正人と申します。

私はPTAの活動に参加することになって15年以上経ちますが、PTAを取り巻く環境は非常に厳しい状況と言えるでしょう。この期間には震災や感染症による活動の休止などがあり、急激な少子化、保護者や教員の多忙化、役員のなり手不足など問題が山積しています。各学校でも同じ悩みを抱えているのではないかと思います。

このような問題の中、PTA活動を円滑に進めていくには、現状に合った活動を推進していく必要があるでしょう。現状人数で無理なく活動できるスタイルを模索する必要があると感じます。

そのためには様々な意見や活動例を参考にするなど情報が欠かせなくなります。私たちPTA連合会では会員皆様が抱える悩みについての解決策を発信していきます。昨年同様、「情報収集・共有・発信」を図り、福島県59市町村の力を結集して様々な問題を解決していきましょう。

「すべては未来ある子供たちのために」

より良いPTA活動を目指し、変化を恐れず邁進していく所存です。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

## 皆さんの温かい気持ちを届けました

新年早々に発生した「令和6年能登半島地震」は、大きな被害をもたらしました。震災の経験がある私たちが皆非常に心を痛める状況でした。かつて私たちが温かい手を差し伸べていただいたように、各PTAの皆様からのお気持ちを集約し「義援金」として鈴木崇史(前会長)が石川県PTA連合会宇田会長にお渡ししました。ありがとうございました。

過日、石川県PTA連合会より御礼の手紙が届きました。その中には、「寄せられました 激励のお気持ちを励みに、本会といたしましても会員に寄り添ったPTA活動に取り組んでいく所存です。」と記されてありました。健やかな復興を心より願っております。

令和6年能登半島地震災害「義援金」募金総額 2,588,573円



## 第72回福島県PTA研究大会郡山・田村大会のお知らせ

日 時：令和6年10月12日(土) 受付12:30  
13:00~16:30(全体会、記念講演、分科会)  
会 場：けんしん郡山文化センター  
大会主題：楽都郡山で奏でる、人と地域のハーモニー  
～予測困難な時代を笑顔でたくましく生きる子どもたちのために～  
記念講演：演題「星とスマイルを見つめて」  
講師：玄侑宗久氏



ふくしまっ子子ども総合補償制度は安全互助会補償制度の上乗せ補償として任意にご加入いただけます。安全互助会補償制度の詳細は、福島県PTA連合会ホームページをご覧ください。

お子さまの大きなケガ、ごめんなさいで済まない事故

大切なお子さまを守るための保険です。

## ふくしまっ子子ども総合補償制度

(小・中学生総合補償制度)



上記、二次元コードよりWEB申込が可能です。

### 日本PTA全国協議会国内研修参加報告

#### 「国内研修事業 in 渡嘉敷村」に参加して

鏡石町立鏡石中学校 3年 斑目 唯生

私は、「国内研修事業 in 渡嘉敷村」に参加させていただいて、たくさんの方を経験し、多くの友達を作ることができました。これからの人生において必要なコミュニケーション能力もたくさん学びました。この研修では、自分の県について話し合い、班の皆と他県のことについても深く関わり合い、知ることができました。慶良間太鼓研修では2つのチームに分かれてエイサーなどの発表を鑑賞したり、自分たちの発表もうまくいったりして、沖縄独自の文化に触れることができ、とても嬉しく充実した時間を過ごすことができました。同じ班以外の人とも話したことをよく覚えてます。

福島県にも伝統的な文化がありますが、沖縄という地で見えたエイサーや慶良間太鼓は特にキラキラと輝いて見えました。仲間たちと過ごす時間が居心地よく、彼らを「家族」と感じるほどでした。今でもこの仲間たちと連絡を取り合い、近況報告やたわいもない会話をしています。それほど、この5日間で多くのことを学び、多くの仲間と出会い、皆としたキャンプファイヤーなどの経験が私の宝物になりました。

このような貴重な経験をさせていただけたことに感謝し、研修で学んだことを今後の人生に生かしていきたいと思えます。沖縄研修で過ごした時間は私の宝物です。本当に幸せな5日間を過ごせたことは、これからもずっと忘れないでしょう。この研修に参加するチャンスをくださって、本当にありがとうございました。

### 日本PTA全国協議会国内研修参加報告

#### 「国内研修事業 in 渡嘉敷島」を終えて

須賀川市立長沼中学校 3年 大河原 昇吾

まずこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。全国から集まった人たちとの交流をすることで様々な刺激を受けました。

今回の国内研修では沖縄で起きた歴史の出来事や、サンゴ礁について学びました。沖縄の歴史の中で第二次世界大戦の陸上戦の舞台となってしまったことの悲惨さを知り、改めて戦争を起こしてはいけないということを深く理解しました。

渡嘉敷エイサーを学ぶ事業では、渡嘉敷村青年会の方たちが実際にエイサーを披露してくださいました。その中の一つである、「唐船ドリー」を自分たちで実際に踊りました。渡嘉敷村青年会の方たちからの教えもいただき、本番ではよりよい踊りを披露することができました。このことから故郷の伝統を守り抜くことの大事さ、楽しさを学びました。

また、国内研修を通し、自分は「人との交流はもっとも大事にするべきもの」ということを学びました。四字熟語の「一期一会」という言葉がある通り「一生に一度限りの機会」を大事にしていきたいと思えます。

今回の国内研修で作ることのできた友達、沖縄で学ぶことのできたこと、これらは忘れることのできないよき思い出です。このような機会をいただき改めて感謝申し上げます。これからの自分の人生によりよい風が吹きました。この経験を生かし、これからの自分の人生をよりよいものにしていきたいと思えます。

## 各郡市 P連から

子どもたちの健やかな成長のために、皆で手を携え進んでいきましょう。



#### 各郡市 P連の紹介

- 1 好きな言葉
- 2 好きなこと
- 3 好きな歌
- 4 今年の抱負や PR

<p style="text-align: center;"><b>福 島</b></p> <p>二階堂 義樹 (森合小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情けは人の為ならず</li> <li>2. 音楽フェス参加</li> <li>3. 1/6の夢旅人</li> <li>4. 各単Pで様々な課題がありますが、コロナ禍を経て改めて人との繋がりが財産であると考えさせられました。連合会に参加する中で多くの人と出会い、刺激を受け、楽しく活動を推進していきます。</li> </ol>	<p style="text-align: center;"><b>伊 達</b></p> <p>田中 直樹 (梁川中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美は真理の近傍にある</li> <li>2. 野菜作り</li> <li>3. ファイト! (中島みゆき)</li> <li>4. 日常生活というものがありつつありますが、今の児童、生徒たちは以前の学校生活というものを知らないのかもしれない。何事にも積極的に関わることができるといい環境づくりのお手伝いできればと思っています。</li> </ol>	<p style="text-align: center;"><b>郡 山</b></p> <p>橋本 裕 (小原田中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 難き方を選べ</li> <li>2. お土産を買おう</li> <li>3. 地上の星 (中島みゆき)</li> <li>4. 本年、郡山で開催される県P研究大会に向けてしっかりと準備を進めていきたい。また、課題は常にたくさんあるので、一つ一つ丁寧に向き合い、子どもたちの学校生活を豊かなものにしていきたい。</li> </ol>	<p style="text-align: center;"><b>石 川</b></p> <p>小山田 進也 (須釜小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 継続は力なり</li> <li>2. 野球、ゴルフ</li> <li>3. 笑い話</li> <li>4. 各学校にて様々な活動が再開される中、子どもたちが健やかに成長できる環境を構築する為には地域と学校が一体となる事が大切だと考えています。多様化の時代に子どもたちが笑顔で一日を過ごせるよう活動に尽力します。一年間どうぞ宜しくお願い致します。</li> </ol>
<p style="text-align: center;"><b>川 俣</b></p> <p>黒澤 良太 (川俣小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. チャレンジ</li> <li>2. 子どもの一瞬を写真に残す</li> <li>3. やってみよう WANIMA</li> <li>4. この度、川俣小学校が再編・統合し2代目の会長です! (1年生)「やったことないこともやってみよう」の気持ちでチャレンジし、微力ではありますが子どもたちの為に頑張りたいと思います。宜しくお願いします。</li> </ol>	<p style="text-align: center;"><b>安 達</b></p> <p>永崎 文敏 (本宮一中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人生祭好 (じんせいさいこう)</li> <li>2. 企画立案</li> <li>3. 優しい彗星 (YOASOBI)</li> <li>4. 子どもたち、先生方、保護者の皆様と三位一体となって、賑やかで明るい絆な学校生活を送ることができるよう力を注いでまいります。</li> </ol>	<p style="text-align: center;"><b>岩 瀬</b></p> <p>鈴木 将太 (須賀川二中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一日一善</li> <li>2. 晩酌</li> <li>3. 笑えれば</li> <li>4. 漸くアフターコロナとなった昨年度は、各行事の再始動等に尽力致しました。</li> </ol> <p>今年度は兼地区PTAの会長として更に視野と知見を広げ、一人ひとり及び地域全体が、ウェルビーイングな生き方を実現できるよう努めて参りたいと思えます。</p>	<p style="text-align: center;"><b>田 村</b></p> <p>白土 謙太郎 (滝根小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 悩むな、考える。</li> <li>2. ふらっと家族旅行</li> <li>3. 三原色 (YOASOBI)</li> <li>4. 子どもたちの成長とともに保護者である私たちも日々成長していけるよう、PTA活動を通して学び、共有していきたいと思えます。少しでも子どもたちの役に立てるよう、一年間よろしくお願ひいたします。</li> </ol>



おめでとう  
ございます!

### 第59回 福島県PTA広報紙コンクール

令和6年度コンクール結果《◎印全国推薦(全国コンクールに出品)》

#### ◆最優秀賞

- ◎福島市立平野中学校「SAZANKA」
- ◎いわき市立平第一小学校「あげつち」

#### ◆優秀賞

福島市立福島第四中学校「さかみち」、会津若松市立第一中学校「あおい」、柳津町立会津柳津学園中学校「鶯筆」、福島市立鎌田小学校「こたて」、郡山市立芳山小学校「かおりの園」、南会津町立田島小学校「田島PTAだより」、白河市立白河第二小学校「はちのす」、福島市立福島第二小学校「第二学園」

#### ◆入選

西郷村立西郷第一中学校「かしわ」、福島市立清水中学校「しみず」、福島市立清明小学校「せいめい」、南相馬市立原町第一小学校「手をつなぐ広場」福島市立野田小学校「のだやま」

#### 福島市立平野中学校「SAZANKA」



PTA 会長 佐藤 孝幸

この度は、最優秀賞という賞を頂戴し感謝申し上げます。昨今のPTA活動についてはマイナスのイメージばかりが付きまわっておりますが、そんな中でも少しの時間を有効に集まっていたいただき、写真を選び、記事を考え、皆さんで協力してよりよい紙面づくりに尽力いただいた広報委員の皆さんの努力の賜物です。写真も大きく紙質もよくなり、広報委員の想いのたくさん詰まった素敵な紙面になりました。広報委員の皆さん本当にありがとうございました。

#### いわき市立平第一小学校「あげつち」



PTA 会長 諸橋 順平

「広報紙に込めた思い」  
この度は、二年連続の最優秀賞を頂戴し誠に光栄に存じます。「あげつち」を作成するにあたり、優しく温かみのある広報紙作りを常に心掛けております。子ども達をはじめ、保護者の皆様、先生方、地域の皆様に「見やすく・楽しく」見てもらえるよう、文字の大きさや配置、クスッと笑える手書きのイラストなどにも力を入れております。今後も委員一同心に残る広報紙を目指して取り組んでまいります。これからもよろしくお願いたします。

<h3>西白河</h3> <p>高皇 裕 (白河中央中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>一視同仁</li> <li>野球</li> <li>ひまわりの約束</li> <li>児童、生徒の更なる環境向上に対して地域の方々と協力し、前進できるよう尽力したいと思います。</li> </ol>	<h3>会津若松</h3> <p>宮森 大典 (若松一中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>人から学び、歴史から学び、科学から学び、芸術に親しみ、スポーツを愛好する。</li> <li>挑戦</li> <li>中島みゆき「糸」</li> <li>子どもたちのためになることをします。</li> </ol>	<h3>耶麻</h3> <p>石田 大介 (喜多方一中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>何事も感謝を忘れない</li> <li>車、デジタルガジェット</li> <li>おもかげ</li> <li>子どもたちが楽しく学校生活を送れるようにPTA活動を通してできることを役員の皆さまと推進していきたいです。また、SNSの使い方や家庭学習などの問題について解決に向けた話し合いが今年度の活動の中で進むように協力していきたいです。</li> </ol>	<h3>南会津</h3> <p>平山 鷹 (田島小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>意志あれば道あり</li> <li>刀剣鑑賞 ソフトボール</li> <li>Ballet Mecanique</li> <li>保護者のみなさんにとって、関わりやすく親しみやすい、開かれたPTA組織にするため変化や摩擦を恐れず活動していきます。そして、それを子どもたちの健全な育成につなげていきたいです。</li> </ol>	<h3>いわき</h3> <p>野木 和洋 (御厩小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>頼まれごとは試されごと</li> <li>ビール、出張</li> <li>TIFOSI IWAKI (いわきFCチャント)</li> <li>GIGA スクール、ICT、スマホにタブレット、さらにはAIが学校教育の中に入ってくる。怖いと感じている保護者もいると思うが怖れるより知ることが重要。PTAにおいては知る機会を作っていきたい。</li> </ol>
<h3>東白川</h3> <p>関根 巨樹 (鮫川中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>石の上にも三年</li> <li>ギター演奏</li> <li>風になりたい</li> <li>子どもから大人への成長は、私たちが考えているより、とても速いスピードだと思えます。その成長の中で声に出せないようなサインが発信する場合があります。そのサインを見逃さず、正面から向かい合っていきたいと思えます。</li> </ol>	<h3>北会津</h3> <p>田中 龍太郎 (磐梯二小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>艱難汝を玉にす</li> <li>マラソン・BBQ</li> <li>Change the World (MAN WITH A MISSION)</li> <li>子どもたちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。そのような中でも子どもたちが笑顔で学びたいと思い、安心して自ら挑戦できる環境を学校と保護者、そして地域が協力し合って協創できるように頑張りたいと思えます。</li> </ol>	<h3>両沼</h3> <p>山崎 勇助 (新鶴中)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>自分らしく</li> <li>家族と過ごす事</li> <li>川崎鷹也の曲全般</li> <li>両沼地区は小中一貫校が増えました。私が在籍する新鶴中学校もその一つです。そんな今だからこそ子どもたちがより良い日常を過ごせるよう、また学校と保護者・地域の橋渡しが出来るよう各役員の方々と力を合わせて頑張りたいと思えます。よろしくお願いたします。</li> </ol>	<h3>相馬</h3> <p>伊藤 佳枝 (新地小)</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>やればできる</li> <li>スノーボード</li> <li>SUN</li> <li>PTA 活動を通してコミュニティの大切さを改めて実感しています。学校・家庭・地域が子どもを中心に繋がることで、子どもたちの可能性が最大限に活き、子どもたちの未来が輝かしいものとなるようサポートしていきます。</li> </ol>	<h3>事務局長</h3> <p>横山 貴英</p>  <p>事務局長を務めさせていただきます。かつて、教職にあり、多くの学校でPTAの皆さんとふれ合ってきました。子どもたちのために力になるように一緒に働いた後の達成感、連帯感にもつながりました。学校も世の中も多忙で、課題はありますが、子どもたちを支えるPTAのために頑張りたいと思えます。</p>

令和6年度福島県PTA連合会役員

Table listing PTA officers and members across various schools in Fukushima Prefecture, including roles like 会長, 副会長, 監事, and 評議員.

安全互助会から

福島県では令和4年4月1日から「福島県自転車の安全で適正な利用に関する条例」が施行され、「自動車損害賠償責任保険等」への加入が義務化されました。

児童・生徒の賠償事故の補償は、自転車条例に対応した補償となっております。

★事故が発生した場合の事故報告方法（コールセンターの導入）

- ①保護者またはPTA会員から保険会社専用事故報告コールセンターへ事故の連絡。（その後事故の手続きが開始）
②従来どおり学校に連絡し、傷害事故報告書または賠償事故報告書を提出。

【児童・生徒のケガ】

- 学校の管理下外での急激かつ偶然な外来によるケガを補償
①入院、通院の治療期間（事故日から治療終了日まで）7日間以上の場合が補償対象
②学校管理下外の登下校中（自宅から学校の校門前まで）、学校休業日の部活動中のケガ、スポーツ少年団（学校教員以外が指導する活動）の活動に参加中のケガも補償対象
③自転車で転倒した、自動車にはねられてケガをした場合も補償対象
④低温やけど、腱鞘炎、疲労骨折など急激かつ偶然な外来の事故以外は補償対象外
・児童生徒の医療費が無償化となっておりますが、この補償制度は医療費とは別に支払われる保険ですので、面倒がらずにご請求ください。

【PTA会員のケガ】

PTA会員（含む児童・生徒）が、PTA主催・共催行事に参加しているときの急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（食中毒を含む）及び偶然な外来の日射・熱射による身体の傷害を補償

- ①PTAの奉仕作業中、PTA球技大会の練習中のケガ
②PTAの行事に参加するための往復途上のケガ など
・入院、通院の場合、治療期間が1日から対象になります。
・保険請求の際にはPTA行事の資料（開催日が記載された文書）を添付してください。

【児童・生徒の賠償事故】

- ①自転車遊びをしていて転び、停車中の車に傷をつけた

- ②自転車で他人にケガをさせてしまった
③学校の休み時間中に誤って教室のガラスを割ってしまった（学校側の管理に責任がない場合）

【PTA会員の賠償事故】

PTA活動中に偶然な事故により、他人の身体の障害、または財物の損壊についてPTAが法律上の賠償責任を負った場合の補償

PTA活動を行うために他人から借り受けた財物を使用・管理している間、PTAの構成員であるPTA会員・児童・生徒が損壊・紛失または盗取されたことによりPTAが法律上の賠償責任を負った場合の補償

- ①PTA主催の水族館見学で、誤ってガラスケースを割ってしまった
②PTA行事に使用していた看板の固定が悪く、風で倒れ、そばにいた通行人がケガをした

※賠償事故については、いろいろなケースがありますので、不明な点はお問い合わせください。

問合せ先 共栄火災海上保険株式会社 東北支店 福島支社
電話 024-554-3006

事務局紹介

Table with 3 columns: Role (e.g., 総務部長), Name (e.g., 佐久間 徹), and School (e.g., 蓬萊中学校長).

●編集後記

「PTAふくしま」第124号を発行するにあたり、原稿をお寄せくださった皆様に心より御礼申し上げます。おかげさまで、県会長・各都市P連会長様のご挨拶や日本PTA全国協議会国内研修の様子、広報紙コンクール審査結果などを掲載することができました。福島県PTA連合会の活発な活動状況を皆様にお伝えできたのなら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。